

パチンコ・パチスロ依存問題の予防と解決に取り組む事業・研究への支援

「イベント開催を通して依存症者が地域に貢献する場を提供する」事業

依存問題や障がいを持つ方々が主体的に参加するイベントで地域社会に必要とされ、貢献しているという感覚を喚起

2013年4月に沖縄県より就労継続支援B型事業所の指定を受けた、むら「ワーカーズホーム」は、開設当初からギャンブルをはじめ、アルコール、薬物などの依存問題を持った方々に多く利用されている。弱者としての障がい者ではなく、障がい者が主体となることで、当事者も支援者も安心して楽しむことができる交流イベントを県の文化財施設で実施した。

依存問題を抱える人、障がい者、支援者の交流イベントを開催

むら「ワーカーズホーム」では、事業所の利用者と一緒に農園（約200坪）でコーヒーの木を100本ほど栽培し、収穫したコーヒー豆を選別・焙煎・袋詰め・販売している（収穫量は少ないため、不足分は業者より生豆を購入）。新型コロナ禍により、ここ数年、就労支援事業所や福祉事業所間での交流はほとんど行われていなかったが、新型コロナの感染が下火になったことを受け、パチンコやパチスロなどの依存問題を抱える人、障がいのある人が地域社会に必要とされ、役に立っているという感覚を持ってもらいたいという趣旨のもと、沖縄県内外の事業所と一緒に販売イベントを実施することで交流を図ることにした。

イベントは国指定重要文化財である「中村家住宅」と

その周辺を借りて、2024年に2回開催した。

6月28日開催の「B型グルメフェス」には県内から11事業所、県外から2事業所が出店し、障がい者が店員として接客を行い、各事業所の利用者を中心に予想を大きく上回る約400人以上の来場者があった。12月7日開催の「マッサージとコーヒー」では、那覇の視覚障がい者事業所「マッサージセンター」がマッサージの施術を行い、「むらワーカーズホーム」がコーヒーを販売した。55名の方がマッサージを受けたが、施術を行った方の学校時代の先生が偶然来場され、卒業生の成長を見ることができたと感激していた。出店者からは、「今までで一番楽しい販売イベントでした」、「中村家でイベントができるなんてすごいことだし、いい経験になった」などの声が寄せられた。



沖縄県内外の事務所と実施した販売イベント



コーヒー豆を中心に販売

助成団体:一般社団法人 むら ワーカーズホーム

<https://www.muraokinawa.org>



地域社会に貢献するために何ができるかを考えてイベント実施

複数年にわたる助成のおかげで、安定して活動することができていることに感謝しています。今年度は昨年までの「私たちの活動」ではなく、「私たちが地域社会に貢献するには」を考えたイベントの実施により、多くの当事者の方々に楽しいひとときを提供できました。

一般社団法人 むら ワーカーズホーム
代表理事 横山 順一さん

子どもの健全育成と、SDGsの目標のうち『貧困をなくそう』『すべての人に健康と福祉を』『質の高い教育をみんなに』の実現に資する活動への支援

「畑の保健室 (SunSunルーム) 不登校生徒の居場所と教育の場」事業

豊かな自然を舞台とした体験学習を中心とするカリキュラムでこれまでにないフリースクールの選択肢を増やす

文部科学省の調査によれば、2023年度の全国の小学生、中学生の不登校者数は過去最多の34万6,482人となっている。岩手県内も同様で、年々増加傾向にあり、特に小学生の不登校児童が増えている。盛岡市に拠点を置く「もりおかユースポート」では、個別の学習はもちろん、豊かな自然の中での体験学習を重視するフリースクールを開校した。

農業体験などの体験学習を多く提供土地の特徴を生かしたフリースクール

増加を続ける不登校の児童や生徒への対応として、全国的に注目度や存在感を高めているのがフリースクールである。岩手県内でも、ここ1、2年でフリースクールは少しずつ増えてきており、学校、家庭以外の子どもの居場所の選択肢の一つとなっている。しかしながら、その数はまだまだ少なく、しかも学習の場としての教室スタイルの形式が多い。

そこで、ニートやひきこもり、不登校など、自立や就労に困難を抱える若者や子どもやその家族の支援を行う「もりおかユースポート」では、岩手県の豊かな自然を活用し、自然と触れ合うことで何らかの課題を抱えた子どもがリフレッシュできる場を提供するとともに、収穫した農作物の調理

実習を含む農業体験、工作活動、音楽活動などの体験学習を多く提供することで、不登校児童・生徒に対してフリースクールの選択肢を増やすことができればとの思いから、野菜づくりの「はるみさんの畑」と共同でフリースクール「SunSunルーム」をスタートさせた。2024年4月から周知などの準備を進め、5月から本格的に始動した。相談・見学・体験など利用に繋がるまで慎重に対応し、安心して利用できるよう保護者も含めてサポートを行ったことで、7月頃から利用者が増え始め、現在6名の生徒が登録し、週2回（火曜・木曜）実施されている。小学校4年生から不登校で他のフリースクールも利用できなかった生徒（現在、中学2年生）が、「SunSunルーム」で自然と触れ合う活動に興味を持ち、第1号の利用者となり、家族との会話も増えたといううれしい報告を受け取った。



不登校生徒へ農業や工作など体験学習を実施



豊かな自然を活用した農業体験などでリフレッシュした

助成団体:特定非営利活動法人 もりおかユースポート

<https://my-port.jp>



不登校生徒の居場所の選択肢を広げる活動に着手できました

この助成を受けて、新しい形のフリースクールをスタートできたことで地域の不登校生徒が選択肢の幅を広げることができたと思います。地域には様々な課題が存在します。その課題解決に向けて柔軟に対応いただける助成は、当法人にとってはとてもありがたく思います。

特定非営利活動法人 もりおかユースポート
主任 菅原 征和さん